

瀬田川プランクトン調査結果速報

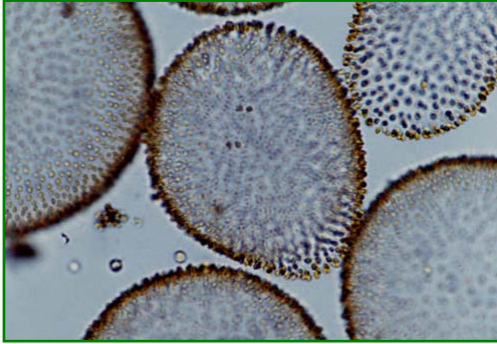
～第35報～

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター
環境生物担当

平成18年11月27日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

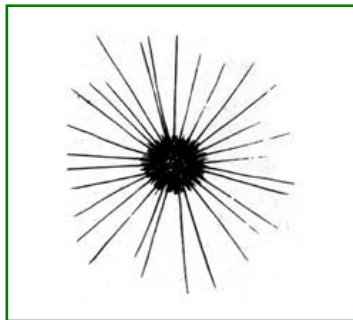
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Acanthocystis chaetophora
(アcantキスチス)
太陽虫類

体は球形で多くの偽足を放射状に出している。小型の太陽虫で軸足が非常に長いのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、黄色鞭毛藻のウログレナ アメリカーナが最も多かった。10月の終わりや11月の初めにやや多く見られたが、それ以後は少なかった。珪藻のホンガタケイソウが増加してきた。動物プランクトンの種類数は少なかったが、太陽虫類のアcantキスチスが最も多かった。ピコ植物プランクトンは前回と同じ位の細胞数であった。深赤色の種は見られなかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/1)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	320

第 2 優 占 種		個体数 (個体/1)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	30

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター
環境生物担当

(2) 植物プランクトン

平成18年11月27日

第35報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	690	◎	
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	10		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	31		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	5		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	30		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	180	○	
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	20		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	35		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	6		○
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	54		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	700	51.8	9.7
(珪) 珪藻綱	306	22.6	13.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	17.8	10.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	106	7.8	66.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1352	総体積 (μm^3)	1.87E+06
種類数	17		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	11月27日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	5,500

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ は 1mm の $1,000$ 分の 1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。